

## ■釧路公立大が室蘭工業大下し2勝目。北星学園大も快勝。第5節

第50回北海道学生選手権第5節は9月23日、札幌市円山競技場で1、2部リーグの各1試合を行った。全日本大学選手権につながる1部は、前節に北海道大を破る金星を挙げた釧路公立大が室蘭工業大を24-14で下し、2勝1敗とした。室蘭工業大は1分け2敗。2部の北星学園大は札幌学院大に29-6で勝利した。北星学園大の勝利は、不戦勝を除くと2019年以来5年ぶり。北星学園大は1勝、札幌学院大は2敗。2部は第8節（10月14日）の北星学園大-北海道科学大戦で優勝が決まる。第6節は9月29日、札幌市円山競技場で1部の北海学園大-室蘭工業大、北海道大-帯広畜産大の2試合を行う。



釧路公立大-室蘭工業大は、「2強」崩しで勢いに乗る釧路公立大が第1Q8分、QB中西亮太（3年、旭川商業高）の12ヤードランで先制すると、第2Q9分にはDE/K北館来星（3年、岩手・盛岡市立高）の44ヤードFGが決まり9-0。室蘭工業大に2TDを奪われて一時逆転を許すが、第3Q2分から85ヤードのロングドライブでボールを運び、第4Q開始直後にRB佐々木葵空（3年、秋田・角館高）の1ヤードダイブで15-14と再逆転。TD後のトライでQB山口響生（4年、札幌清田高）からWR高坂駿佑（4年、滝川西高）へ2点コンバージョンパスを決めて17-14とした。終了間際同10分にはRB田中巨人（4年、足寄高）が29ヤードランで駄目を押した。

室蘭工業大は第2Q、10分にRB富樫司（4年、札幌清田高）の17ヤードラン、11分にはQB原田颯太（2年、岡山・倉敷天城高）からWR西京介（1年、大阪・高槻高）へ17ヤードパスで14-9と逆転したが、選手19人の層の薄さもあり、後半の釧路公

立大のロングドライブと再逆転を防げなかった。

釧路公立大の伊藤祐介Cは、ほぼランで85ヤードを運んだ第3ダウンのロングドライブについて「ランが出るうちはランを使い続けた。チーム力に厚みを加えるために乗り越えなくてはならない壁だった」と狙いを説明。44ヤードFGと、終了間際にDEとしてファンブルリカバーで室蘭工業大の反撃を封じたDE/K北館は「ファンブルリカバーは、QBサックをしてくれたDE蓮井海都（3年、旭川南高）のおかげ。拾ってTDまで走りたかったが、お手玉をしてしまった。FGは初めて決めた。チームに勢いをつけられた」と満足そうに振り返った。



室蘭工業大のOL/DL船木翔斗主将（4年、札幌北高）は「悔しい。俺らもいるぞというところを見せたかった。来週の北海学園大戦に勝って、俺らも『3強』というところを見せたい」と巻き返しを誓った。TDキャッチのWR西は「ボールが良かった。チームに貢献できた」と収穫を挙げた。

北星学園大―札幌学院大は、15シーズンぶりの2部降格の北星学園大がQB伊藤昊咲（1年、札幌月寒高）の4TDパスで快勝した。第2QにWR後藤秀太（4年、北星学園大付属高）へ23ヤード、WR中田大翔（4年、北星学園大付属高）へ13ヤードを決めると、第3QのK菅沼一成（1年、札幌南陵高）の24ヤードFGを挟み、第4QにもWR中田へ53ヤード弾、WR後藤へ38ヤード弾を決めた。選手11人の札幌学院大は第3Q、QB仲上日陽（2年、東海大札幌高）からWR芝辻俊希（4年、星槎国際高湘南）への13ヤードTDパスで一矢報いた。



実戦では5年ぶりの勝利に北星学園大の北野啄夢監督は「1年生QBが機能した。4年生WRの中田と後藤が引っ張ってくれた。北海道科学大戦もパスでテンポを作りたい」と、チーム再建の手ごたえを強調。先制TDのWR後藤は「4年間で初めてのTD。同じ4年のRB箕浦空哉がけがで退場したので、気合で捕った」と言葉を弾ませ、同じく2TDのWR中田は「科学大戦も、オフェンス、ディフェンスともチームが一つになって臨む」と必勝を決意した。一方、最終戦となった札幌学院大のWR芝辻主将は「1本取れ、次につながられた」と振り返り、QB仲上は「TDパスは苦し紛れで投げたが、俊希さんが捕ってくれた。4年生の貫禄だった」と先輩に感謝した。（広報委員 塚田博）